

古 今 一 如

— ここんいちによ —

「古今一如(ここんいちによ)」とは、「時間の流れはもともと一体で、不二同一の理である」という意味です。県史跡相馬御風宅の奥土蔵の扉に刻まれた字体を集字して使用しています。当館前庭左側に石碑もあります。

いあいさつ

館長 木島 勉

糸魚川市は、比較的人口規模の小さいまちですが、豊かな自然と風土に育まれた多種多様な文化が存在し、それが市民の手によって保護・継承されています。糸魚川で暮らしていると、それらは日々の生活の中に溶け込んでいて、望めば気軽にふれることができます。昭和52年の開館以来、今年で43年目を迎える当館は、そんなまちの特性を生かすべく、市民の皆さんに郷土の歴史や文化を知っていただけるように、また、良寛研究や御風研究のために遠くから訪れるお客様のお手伝いができるよう取り組んでまいりました。

今回の館報には、みなさんから寄贈・寄託いただいた資料と、収蔵・整理作業を進める中で新たに存在が確認された御風の会津八一宛て書簡、平成30年度企画展の3件を紹介していますので、ここではその他の取組みについて簡単に紹介させていただきます。

文末になりましたが、今までのご愛顧に心よりお礼申し上げますとともに、今後も当館の事業をご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【相馬御風書簡集（下巻）発行】

先に発行され、家族への書簡をまとめた同書簡集（上巻）の続編として発行しました。友人・知人への書簡を掲載しており、御風の文人としての活動を垣間見ることができるよう

内容に仕上がっています。

【新潟県史跡相馬御風宅企画展】

琴平神社宵祭りから8月末まで開催している企画展で、今回は糸魚川に帰郷した後の御風と弟子たちが詠んだ夏の短歌を展示しました。

【相馬御風宅バタバタ茶ふるまい】

「バタバタ茶の会」のご協力で6月10月の第一水曜日午前中、来館者に無料でバタバタ茶を提供していただきました。

【敬老の日無料開館】

糸魚川歴史民俗資料館と能生歴史民俗資料館、相馬御風宅で、65歳以上の方を対象に入館料を無料としました。

【相馬御風宅駅北大火2年イベント】

平成28年の駅北大火から2年となる12月22日、庄屋の火消装束や龍吐水、駅北大火で焼け出された書籍等の展示とバタバタ茶のふるまいを実施しました。

【御風資料の購入】

短歌1首（額装）、百人一首のうち4首（軸装）、画賛 秋天一碧・柘榴（額装）の3点（いずれも直筆）を購入しました。

【収蔵品の閲覧・資料提供】

年間を通じて、多くの方から申請をいただき対応しています。礼状をくださった方がいますのでその一部を紹介いたします。

（前略）コピーとしてその歌と文をお送りいただき、誠に感謝に堪えません。膨大な資料の中から父の作品を拾い出す作業には、さぞ多くの時間と労力をおかけいたしましたことと存じます。改めてお礼を申し上げます。（後略）

平成24年度～30年度 寄贈・寄託資料の紹介

【寄贈】

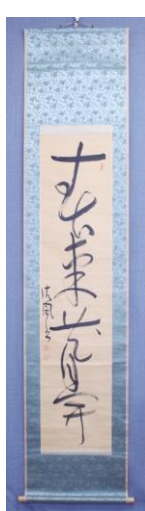
【平成24年度】

□井合 作蔵 様

平成24年4月25日

御風書（軸装）、写真パネル

2点



□石坂 茂 様

平成24年5月24日

雑誌（相馬文子談話）、
絵葉書、リーフレット他

6点



□渡辺 章 様

平成24年8月2日

御風書（軸装）

1点



□相馬 チエ 様

平成24年8月2日

御風・照子葬儀写真
他アルバム

1点

